

# せいそううどく 清爽得得

「晴れた日には田畑を耕し、雨の日には家に引きこもって読書する」。そんな晴耕雨読の生活に憧れます。私たちの毎日は、雨の日も晴れの日も、猛暑の夏も凍える冬も、掃除、掃除の連続。「いつも大変ねえ」と声をかけてくださる方もいますが、でも本当は、そんなに大変ではありません。清掃って、手を抜かずに一生懸命やっているのと、不思議といろいろな“得”（徳？）がついてくるのです！

□□[花]□□□□[花]□□たてもものサービス通信・2015年・夏号（第12号） 株式会社たてもものサービス□□[花]□□

— ごあいさつ —

暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしですか？ 夏といえばイベント、お祭りなど色々な催しものがありますが、私たちはといえばあいかわらず、暑さに、雑草に、悪戦苦闘する毎日です。それでも、暑い暑いなどいいながら、平穩に毎日をご過ごせるのも、お客様あってのもので。心より感謝申し上げます。大きな変化はありませんが、清掃・サービスの質を向上させることを目的に、いくつかのマイナーチェンジを進めております。日報やチェックシートのスタイル変更、清掃方法の見直しといった小さな改善ですが、小さくても、会社として改善・改良を続ける習慣を根付かせていきたいと思っております。お客様には、今後ともご指導のほどお願いいたします。

## 年間を通じた美観維持のため 臨機応変に清掃・努力いたします



## 現 場 だ よ り



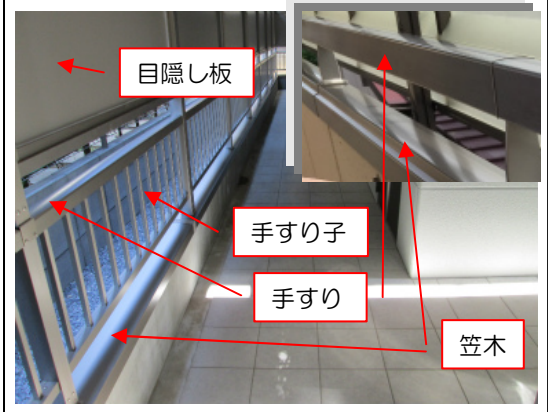
### ◎状況の変化に対応しながら清掃しております

年間を通じて居住環境をキレイに衛生的に保つこと。これがアパマン巡回清掃の目的のひとつです。私どもの巡回点検清掃では、一年を通じて、四季の移ろい・変化に応じた清掃を実施するよう努めております。下表はその例です。○印は月ごとの重要項目です。物件により○のつく箇所が異なりますが、物件ごとに、どのような清掃が必要とされ、どれくらいのペースでそれを実施するのが適当なのか、試行錯誤しながら清掃にあたらせていただいております。

美観環境変化に応じた年間清掃例												
—1年の季節の変化、環境の変化に臨機応変に対応しながら建物の美観を維持します—												
環境変化要因	強風				梅雨							
	草の影響				落ち葉の影響							
	入退去に伴うゴミの未分別・放置				暑さによるゴミ置き場のニオイ							
	内見シーズン						内見シーズン					
重視項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物まわり												
ゴミ分別粗大ゴミ		○	○	○								
ゴミ置き場外観の洗浄							○	○	○			
除草				○	○	○	○	○	○			
除草剤散布			○	○	○	○	○	○	○			
落ち葉											○	○
建物内												
エントランス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
床拭き			○	○								
手すり・笠木			○	○				○				
壁面	○	○										
高所部							○	○				
ガラス・目隠し							○	○				
排水口・ゴミ除去	○	○										
特別清掃(洗浄)	目安として年2回の床洗浄を実施することで床面の美観の回復を図る											

### ★★ アパマンの清掃名称★★

先日あるお客様より「笠木とはどこの部分ですか？」というご質問をいただきました。清掃報告書によく記入しております「笠木（かさぎ）」ですが、以下の写真の部分をもそのように呼んでおります。多いのは写真のようなアルミ製の笠木ですが、コンクリートで仕上げている場合も笠木と呼んでおります。コンクリート仕上げの笠木は表面に凹凸があり、ここに砂ボコリをためてしまうと、雨が降った時に黒い雨だれとなってその下の壁（手すり壁）を汚しますので注意が必要です。



### 【清爽得得】掃除でイコトありました 道具の力…

以前から使ってみてみたいと思っていた清掃道具がありました。それはトイレの陶器についた水アカを落とす道具で、ピューミーという名称がつけられたものです。便器の中を見ると、水際のところどころに黒く細かい線が入っていることがよくあります。これは汚れというよりも、水道水に含まれるカルシウム等の成分が空気に触れ反応したためにできる水アカで、固形化していて簡単に落とせるものではありません。ピューミーという道具は、その水アカを消しゴムで消すかのように簡単に落とせます、とうたっています。半信半疑で購入し、試してみたところ、いまままで苦労していた陶器の水アカを半分以下の時間で落とすことができました。

他の分野に比べて、清掃業界はその道具や作業方法について、技術革新が遅いように思えます。人に代わって機械やコンピューターが様々な仕事を効率的に正確に行うようになる流れのなかで、掃除・清掃は依然として人が手や体を動かすことではしかその結果をえられません。

ところがよくよく細かく見ますと、小さな技術革新が清掃道具の中にも様々なところで起きていて、それを考案した人たちの想いや努力、ときには執念をも感じ取れます。ピューミーもそうですが、なるほどと思うアイデアや工夫が少なくありません。

振り返りますと、道具により様々なピンチを救われてきました。この道具がなかったら引き渡しに間に合わなかったかもしれない、十分な仕上がりできなかったかもしれない、という場面が多々あります。

「物は大切に」という言葉の重みを清掃を通じて肌身で感じる今日この頃です。（鈴）

—こんな会社づくりを目指しています—（たてもものサービスの会社理念）

「私たち株式会社たてもものサービスは、「掃除」を通して自分を磨き、お客様、働く仲間、そして家族のキラキラ輝く笑顔を守ります」

サービス向上のため、「もっとこうして欲しい」などのご意見がありましたら、ぜひお寄せ下さい。